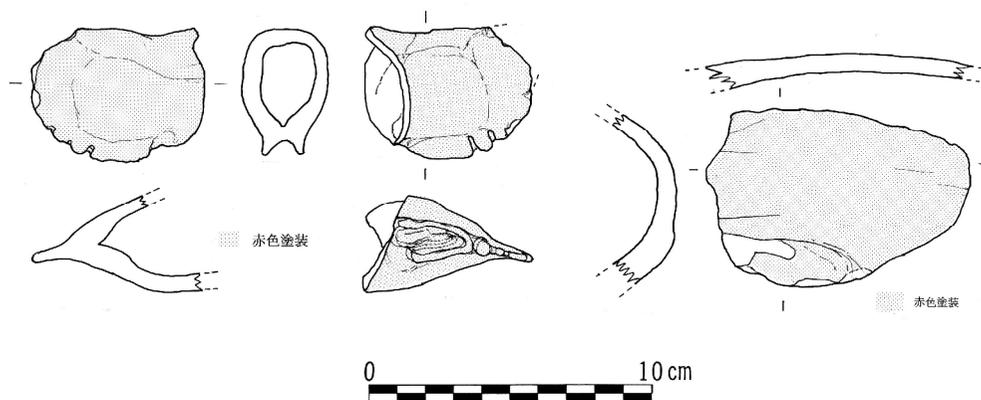


資料紹介 2

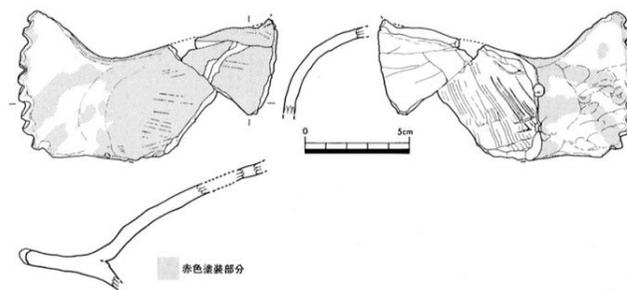
名古屋市中区古沢町遺跡出土形象土器片について

和田 英雄



第 1 図

第 1 図の形象土器片は、1965 年 9 月名古屋市中区古沢町地内における名古屋市民会館建設工事中に出土したものである。当初、郷土玩具の一部ではないかと考えていたが、洗浄後、胎土、内面調整の跡、器表面の赤色塗装の観察により弥生時代後期のもものと判断した。その後、名古屋市博物館から飯尾恭之氏らによる古沢町遺跡の緊急調査により出土した館蔵考古資料の紹介（第 2 図）があり、今回、類似資料として紹介することとした。



第 2 図

（名古屋市博物館だより第 56 号、犬塚「名古屋市中区古沢町遺跡出土魚形壺片について」より引用）

資料は中空の魚類の尾部（第 1 図左）と考えられる部分と胴部（第 1 図右）と考えられる部分であるが、凹面を呈する鰭（吸盤状）が腹鰭か背鰭となるのか、また胴部の破片の位置も不明である。尾鰭の一部は欠けている。内面、外面とも刷毛状具により面調整がなされており、外面は赤色に塗装されている。魚種は不明であるが魚類をリアルに模したものと考えている。